

高校生のための リモート臨海実習

千葉県館山の臨海施設から自宅へ海産動物と実験器具を送付します。
オンラインの指導で実験観察を行い、専門の講義を受講できます。

日程：5月2日～5月4日

定員：

リモート実習と講義 12人
講義の聴講のみ 12人

実習内容：

ウニの受精から幼生・成体まで
発生観察と課題研究、ナメクジ
ウオなどの観察（清本正人）

スケジュール：

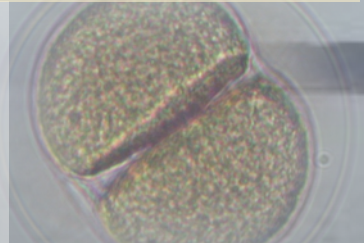
5月2日 午前中に荷物配達
13:20-17:00 リモート実習（清本）
ウニの採卵と受精

5月3日
10:00-12:00 リモート実習
ウニの胞胚と原腸胚
13:20-15:50 講義1（千葉）
15:00-17:00 リモート実習
ナメクジウオの観察

5月4日
10:00-12:00 リモート実習
ウニの幼生と稚ウニ
13:20-15:50 講義2（佐藤）

講義1：ウニ卵の受精と細胞分裂（千葉和義）

減数分裂が完了したウニ卵と精子が出会うと、受精します。受精では、精子は卵の方向に泳ぎ、卵に接着すると形態が変化して、卵の細胞膜と精子の細胞膜が膜融合します。このときに卵の受精膜が形成されます。さらに2つの生殖細胞が合体し、2つの核も合体すると、卵割を開始します。これらの受精過程について詳しく解説します。



講義2：脊椎動物と無脊椎動物のあいだ：脊椎動物の背中は無脊椎動物のお腹？（佐藤敦子）

脊椎動物と無脊椎動物という区分は、アリストテレスの時代にさかのぼります。脊椎動物の特徴はどこから進化したのでしょうか。実習で使うウニやナメクジウオのほか、半索動物など、脊椎動物に近縁な無脊椎動物との比較から、脊椎動物に特有の左右性を中心に、脊椎動物の体の特徴の進化的由来についてお話します。



受講条件：期間中を通してオンラインで受講できること
（Zoomを使用）、顔を出して受講すること
費用負担は、実験器具を返送する送料のみ

申込方法：希望（実習と講義、講義のみのどちらか）と
受講を希望する理由（300字）をe-mailで連絡

締切：4月23日（金）原則先着順、特定の学校に偏らないように調整

連絡先：kiyomoto.masato@ocha.ac.jp

お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究センター 0470-29-0838